

訓読のきまり (P115)

- ① 訓読…漢文を日本の「」を用いて翻訳すること。
- 句読点・送り仮名・返り点↓「」
 - 原文のまま (訓点がついていない文) ↓「」
 - 句読点・送り仮名・返り点などを加えた文 ↓「」
 - 訓点に従って、漢字仮名交じり文に書き改めたもの ↓「」 文

② 送り仮名の原則 (必携P12)

- 「」に従い、「」で書く。
- 文意上必要な「」に当たる語を補う。
- 用言 (活用語) は、活用語尾を送る。
- 副詞・接続詞は最後の一字を送る。

③ 書き下し文の表記の原則 (教科書P116)

- 「」で表記する。
- 送り仮名は、「」に従い、「」で書く。
- 日本語の「」に当たる漢字は、「」で書く。
- 「」は、表記しない。
- 引用や会話文の終わりに「」を送る

音読や演習問題を解く中で
覚えるといイネ。



《返り点の種類》

1 「」点

- 【 について 【 】【 の順を入れ替える。
- 【 から返る。

【 :: 転レ禍 為レ福。 ↓ 書

2 「」点

- 【 二字について、 【 から返って読む。
- 【 】【 から返って読む。

【 :: 懸ニ羊 頭ニ売ニ狗 肉ニ。

↓ 書

【 :: 送ニ元^{げん} 二使^じニ安^{あん} 西^{せい}ニ。

↓ 書

3 「」点

- 【 が着いた部分を 【 】【 下から返って読む。

【 :: 悪^{アク} 称ニ人ニ之 悪^{アク} 者^{シヤ}上。

↓ 書

《返り点の組合せ例》

【 :: 百 聞 不レ如ニ一 見ニ。

↓ 書

【 :: 吾 日 三ニ一省 吾 身ニ。

↓ 書

* 「一」は、二字以上の熟語に返って読む場合。